

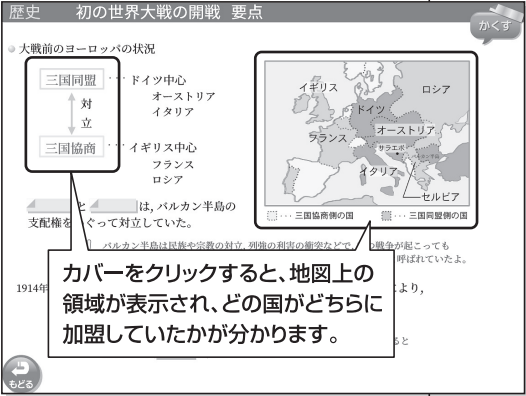
1. 学習項目

第一次世界大戦 (1 h 計画)

2. 本時の目標

- ・ 第一次世界大戦における日本の動向を調べる。
- ・ 世界が第一次世界大戦へと突入した理由 (時代背景) を理解する。

3. 本時の展開

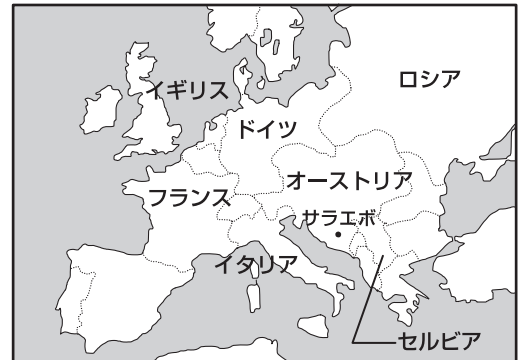
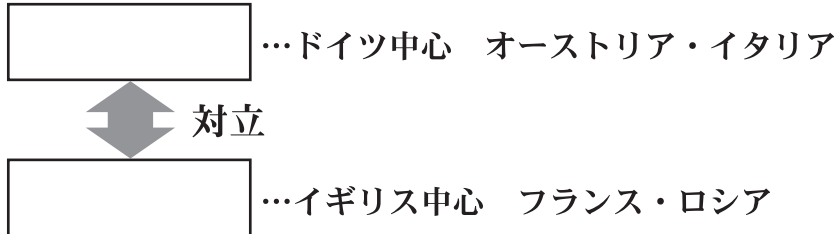
	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
導入	1. 前時までの復習 ・ 欧州諸国の帝国主義 ・ 日本の戦争 (日清戦争・日露戦争) での勝利	○ ノート等を見返して、これまでの時代の流れを把握する。	○ 「帝国主義」等、第一次世界大戦の背景においてキーワードとなる言葉を押さえておく。
展開Ⅰ	2. 第一次世界大戦勃発直前の世界情勢を調べる。 「各国間の関係を調べてみましょう。」 〈日本の気候〉要点 	○ ソフト画面を見ながら、「三国同盟」と「三国協商」の加盟国を確認する。 ○ 各国が、なぜ同盟を結んだのかを考える。	○ 「三国同盟」と「三国協商」、それぞれに加盟している国を押さえる。また、各同盟が結ばれた背景に着目する。

【教科書対応表】 ※ この指導案は下記教科書に対応しています。ご参照ください。

出版社名	教科書名	区分 / タイトル
教育出版	中学社会 歴史	第6章 1節 / 第一次世界大戦と民族独立の動き
東京書籍	新しい社会 歴史	第6章 1節 / 第一次世界大戦と日本
日本文教出版	中学社会 歴史的分野	第5編 1 / 第一次世界大戦と戦後の世界
帝国書院	中学生の歴史	第5章 第1節 / 第一次世界大戦と民族独立の動き
育鵬社	新しい日本の歴史	第5章 第1節 / 第一次世界大戦前後の日本と世界

組 番 名前

● 大戦前のヨーロッパの状況



三国同盟と三国協商は、バルカン半島の支配権をめぐって対立していた。

→ バルカン半島は と呼ばれていた。

1914年 セルビア人がオーストリア皇太子夫妻を暗殺した により

オーストリアが宣戦し、 が始まった。

※ 日本は、日英同盟を理由に参戦。

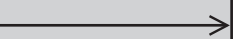
※ イタリアは、オーストリアと領土問題で対立していたため、戦争が始まると連合

国軍側 (側) で参戦

● 日本とロシアの動き

1915年

日本



要求の内容 (一部の要約)

- ・中国の山東におけるドイツの権利を全て日本に渡すこと。
- ・南満州などでの日本の権益を拡大、又は、延長すること。
- ・中国政府に日本人を顧問として採用すること。

※ これにより、日本は中国へ勢力を伸ばそうとしていた。

※ この内容は中国の主権を侵害するもので、後に強い排日運動が中国に広がった。

1917年 近代化の遅れから、ロシアが第一次世界大戦に苦戦する。

レーニンが を起こしロシア政府を倒す。

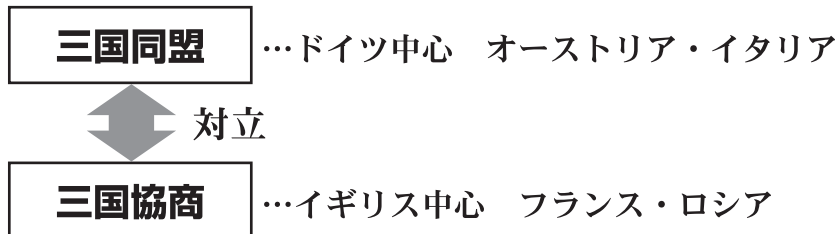
1918年 ドイツの降伏により の終結。

1919年 ドイツと連合国がパリ講和会議で を結ぶ。

この条約により、ドイツは植民地を取り上げられ、多額の賠償金を請求された。

組 番 名前

● 大戦前のヨーロッパの状況



三国同盟と三国協商は、バルカン半島の支配権をめぐって対立していた。

→ バルカン半島は **ヨーロッパの火薬庫** と呼ばれていた。

1914年 セルビア人がオーストリア皇太子夫妻を暗殺した **サラエボ事件** により

オーストリアが宣戦し、 **第一次世界大戦** が始まった。

※ 日本は、日英同盟を理由に参戦。

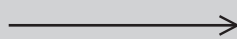
※ イタリアは、オーストリアと領土問題で対立していたため、戦争が始まると連合

国軍側 (**三国協商** 側) で参戦

● 日本とロシアの動き

1915年

日本



中国

二十一か条の要求

要求の内容 (一部の要約)

- ・ 中国の山東におけるドイツの権利を全て日本に渡すこと。
- ・ 南満州などでの日本の権益を拡大、又は、延長すること。
- ・ 中国政府に日本人を顧問として採用すること。

※ これにより、日本は中国へ勢力を伸ばそうとしていた。

※ この内容は中国の主権を侵害するもので、後に強い排日運動が中国に広がった。

1917年 近代化の遅れから、ロシアが第一次世界大戦に苦戦する。

レーニンが **ロシア革命** を起こしロシア政府を倒す。

1918年 ドイツの降伏により **第一次世界大戦** の終結。

1919年 ドイツと連合国がパリ講和会議で **ベルサイユ条約** を結ぶ。

この条約により、ドイツは植民地を取り上げられ、多額の賠償金を請求された。